



溢れ出す優しさ

大阪府立工芸高等学校 3年

みや お き おり
宮尾 希織

私は天王寺区のバリアフリーについて調べました。なぜ天王寺区について調べたかという、私は大阪市外の場所に住んでいて、大阪市内の学校に通っており、私が通っている工芸高校では特殊な画材が必要になったり、気づけば必要な物がなくなっていたりして困ることがよくあります。そんな時に私は天王寺区に買いに来るので、今回天王寺区を題材に選びました。

天王寺駅には天王寺 MIO や、あべのキューズモール、それから近鉄阿部野橋駅があり、多くの人で溢れています。だから、それらの場所を繋ぐための歩道橋がつけられています。しかし、JR 天王寺駅から歩道橋に上がる時、地下鉄天王寺駅から歩道橋に上がる時などは階段で上るので、足に怪我をしている人、高齢で階段がしんどいという人には大変だと感じました。だから、エレベーターはそのような人たちへの配慮になっていると考えました。エレベーターは車いすの人と、その付き添いの人に乗っても余裕を持って入れるほどの大きさがありました。

他にも、あべのキューズモールには様々なところに休めるための椅子が置かれており、買い物して疲れた人だけでなく、小さい子ども

もが休める場所になっていて、買い物をしにきた人のことをよく考えられているなと感じました。

そして、私が一番感動したのは、駅の中の案内表示の多さです。地下鉄天王寺駅は、御堂筋線と谷町線で乗り換えができるようになっていて、しかし、構内の地図を見ても入り組んでいて分かりづらく、どう行ったら着くのだろうと初めて地下鉄の乗り換えを使った時に感じました。ですが駅に着くと複雑に思えた駅が案内表示に従うと簡単に感じました。また、地下鉄から直接近鉄に乗りたい時も、どの出口から出たら早く着くのかを教えてくれるので、その土地に慣れていない人にとって、とてもありがたいものだと思いました。

このように、天王寺区には人が集まる場所だからこその配慮に溢れていて、住み慣れた人はもちろん、その土地に慣れていない、街の外から来た人にとっても快適に過ごすことが出来るまちづくりがされていると感じました。私が調べた以外にもまだまだたくさんの優しさで溢れた街だから人が集まるのかなと考えました。



写真1



写真2



写真3